

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	石井 義人	電 話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9938		事務事業名称	浄水場等施設改良事業						短縮コード	経常	9938	臨時	
予算区分	会計	64	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	02	改良工事費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
水道水の安定供給のために、平成11年度以降（昭和42年4月に水道事業を開始）老朽化した水道設備の更新を図っている。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 施設の老朽化が進む中, 事業費が増大しないよう計画的に施設更新が必要である。				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして							
					大項目（節）	04	水道							
					中 項 目	01	水道							
					小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上							
細 項 目	01	安定供給の向上												
					実施計画の計画事業	4403	安定水源の確保・地下水の保全事業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	浄水場及び給水場							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 中央浄水場跡地の整備工事を行った。							
	※平成22年度に計画していること： 小型遠方監視装置交換修繕及び萱田浄水場2号井戸修繕を予定している。							
意図 （何を狙っているのか）	安定給水ができるよう、老朽化した施設を改良する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	施設能力	m3／日	54,830	60,080	54,830	60,080	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	改良工事費	千円	227,986	8,295	8,106	23,604	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	貯水時間	時間	61	67	61	67	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	9938	事務事業名称	浄水場等施設改良事業			所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			水道の運営基盤を向上させるためには、老朽化した施設を計画的に更新していきます。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			老朽化した施設を更新するためには、経費の増加はあるが、水道の運営基盤の向上になる。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☐	☒	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
施設の計画的な管理について、議会や監査の意見あり。	

所属長コメント	上下水道局では平成22，23年度の2か年継続事業として，「八千代市水道事業第2次長期基本計画」を策定し，水運用の確立や取水・配水の効率的な運用を進めるための施設整備を進めます。この計画の中で施設の見直しや改善・改良を行い，安定給水に努めます。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		